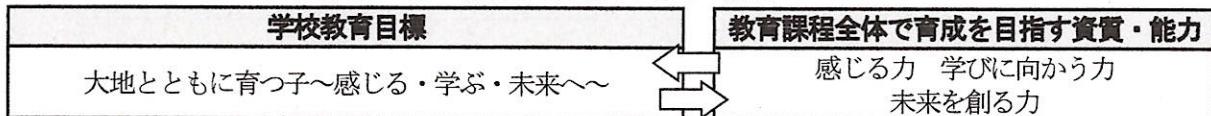


横浜市立浅間台小学校

令和2年度 学力向上アクションプラン（知耕）

1 中期学校経営方針

（1）学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



（2）中期取組目標

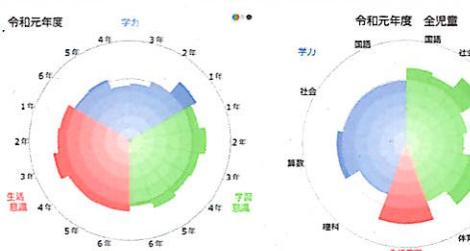
中期取組目標

本校の豊かな自然環境やまちの特色を活かした「三耕教育」を実践し、子どもが夢や希望をもって、なりたい自分をデザインしたりまちの一員として発信したり、社会とつながっていることを実感できる学校を目指します。

（3）学力向上に向けた重点取組分野・具体的な取組

重点取組分野	具体的な取組
生きてはたらく学力 【学習指導】	①未来に向かって自己実現していく子どもを目指し、単元づくりに取り組む。 ②基礎基本の定着を目指した課題と併せて探究的な課題を提示し、児童の学びが広がるように取り組む。 ③授業や学習の環境のユニバーサル化を図り、児童が落ち着いて学習に取り組めるようにする。
担当 学力向上	

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



（1）学力の概要と要因の分析

教科によって差はあるが、総合的には横浜市の平均に近い結果だった。「一日にどのくらい本を読みますか。」という質問で、読書量が多い児童に正答率が高い傾向が見られた。このことから読書量が読解力につながり、学力に関わることが分かる。

（2）教科学習の状況

- 国語科：全学年、国語への学習意識が高いが、知識・理解・技能が低い傾向にあり、意欲を学力につなげられていないことがわかる。
- 算数科：学習意識も高く、基礎・活用とともに横浜市の平均正答率を上回っている。
- 社会科：ほぼ横浜市の平均と同じである。
- 理科：生活科では学習意識が高いが、理科では学習意識が下がっている。

（3）経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

過去6年間の経年変化の状況から、一定の学力を維持していることが分かる。算数科に関しては高い数値で学力の定着が見られるのは、少人数での学習形態を用い、個に応じた指導の成果と考えられる。他教科に関しても、一人一人が学習を主体的に取り組めるように、学習への興味関心を高め、自身で課題を発見・解決できる姿を目指した授業づくりを研究していく。生活意識では、「話したり、聞いたりして、人とかかわることが好きですか。」という問い合わせに対して「好き、どちらかといえば、好き」と答えた児童が9割を超えており、本校の特色である畑や路耕において、地域の方とかかわる時間が充実していることや昨年度外国語活動でコミュニケーション能力を養えるように研究したことの成果であると考える。人とのかかわりの中で、一人ひとりが自己を表現していく姿をめざして今年度も研究を深め、安心して学習できるようにしたい。

3 令和2度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

育成を目指す 具体化した資質・能 力	具体的取組	
	前期	後期
1 年	◇自分の思いを もち、相手に伝 える力	<ul style="list-style-type: none"> やりたいことや知りたいことなど自分の思いをもてるように、一人ひとりの様子をよく見て、思いを受け入れる態度をしっかり示す。 自分なりに見通しがもてるよう学習計画を提示することで落ち着いて取り組むようにする。
	◇学習のめあて を発見する力	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対する興味関心を引き出し、問題を選べるように提示したり、解決するまでじっくり取り組むための時間を確保したりする。 楽しみながら疑問や気づきができるように、具体操作や探検など体験的な学習を取り入れる。
2 年	◇自分の思いを 他者に伝わる よう表現する 力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを他者に表現する機会を増やすため、ペアやグループ学習など様々な学習形態を内容に合わせて効果的に取り入れていく。 見通しをもって学習できるようにするために、課題、自分の考え、話し合い、まとめ、振り返りといった授業の流れを定着させたり、単元計画を子どもと共に立てたりする。
	◇主体的に学習 問題を追求する 力	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法の幅を広げられるようにするために、説明する文章、記録報告する文章を書く機会を設けたり、発表する機会を多く設けたりする。 各自の学習のめあてや課題を明確にし、意欲的に学習に取り組める環境を整備する。
3 年	◇他の思いを 知り、自分の思 いや行動を調整 する力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを適切に表現し、他者とのコミュニケーション場面で生かすことができるようするために、協働的な学習の場を設定する。 個々の実態をつかみ、少人数指導やステップアップ学習、一部教科担任制を活用しながら補充的指導、発展的な指導を行う。
	◇問題解決のた めに集めた情 報を整理・分析 する力	<ul style="list-style-type: none"> 多様な考えを知り、自分の考えを深めたり修正したりすることで、自分の考え方の適用範囲を広げるために、全校や地域に視野を広げより多くの第三者の思い、考え方方に触れられるようにする。 個々の実態をつかみ、少人数指導やステップアップ学習、一部教科担任制を活用しながら補充的指導、発展的な指導を行う。
4 年	◇自分の思いを もち、他者と適 切にかかわる 力	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決の結論や第三者の考え方、社会のあり方などを受け止めたうえで自分の思いを柔軟に変化させたり広げたりできるようにする。
5 年	◇他の思いを 知り、自分の思 いや行動を調整 する力	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を選択したり比較したりする活動を自分の思いだけに固執しないよう、クラスで話し合うなど協力して行うことで課題を解決できるようにする。
	◇問題解決のた めに集めた情 報を整理・分析 する力	
6 年	◇自分の思いを もち、他者と適 切にかかわる 力	
個 別 支 援 学 級	◇自分の思いを もち、他者と適 切にかかわる 力	<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、道徳科・自立活動を中心話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設ける。 子どもの発達段階に応じた課題を設け個別に学習する時間と、交流級で集団の中で学習する時間を設ける。 教室環境を整え、学習場所・活動場所を分けることで落ち着いて学習できるようにする。
		<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、道徳科・自立活動を中心話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設ける。 子どもの発達段階に応じた課題を設け個別に学習する時間と、交流級で集団の中で学習する時間を設ける。 教室環境を整え、学習場所・活動場所を分けることで落ち着いて学習できるようにする。